

令和元年6月25日現在

機関番号：72644

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K03802

研究課題名(和文) 近世の越後縮生産地域の間屋経営と金融構造

研究課題名(英文) The Business Activity of Kagaya in Shogunate period

研究代表者

賀川 隆行 (Kagawa, Takayuki)

公益財団法人三井文庫・社会経済史研究室・研究員

研究者番号：90087908

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は江戸時代の越後十日町の越後縮問屋加賀屋の経営分析から、越後縮の大都市問屋商人との流通構造を明らかにするとともに、為替にて代金決済をおこなっているために、越後の大名との間では為替取引を行っていた。その為替が成立していく過程の仕組みを明らかにした。加賀屋は江戸呉服問屋大丸屋の買宿でもあったため、大丸屋との取引の仕組みを明らかにした。作業は連携研究者とともに十日町市情報館に所蔵されている加賀屋文書をデジカメにて収集するとともに、マイクロフィルムにて提供された文書のスキャンを行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

越後十日町の越後縮問屋は江戸の呉服問屋のために越後縮を集荷し送荷するが、拘束性の強い買宿というかたちをとることが多い。それでも江戸以外の地域への広範囲の取引が可能であった。前貸し金や代金の決済には為替を用いていた。江戸から十日町への資金流通と相殺するために、長岡藩など江戸へ送金する大名の資金を受け入れた。為替取引量が次第に増大していき、加賀屋だけの送金にとどまらず、多くの資金を扱うようになるとともに、越後の国の多くの大名の江戸送金も扱うようになり、為替業者として成長していった。

研究成果の概要(英文)：This study is business activity of Kagaya. Kagaya is a clothes merchant, He is a Buyer of Echigo chidimi. and agent of Daimaruya.

Kagaya is a financier. He did the transportation of money from Echigo to Edo, and from Edo to Echigo.

研究分野：近世商業金融史

キーワード：加賀屋 大丸屋 越後縮 為替取引 長岡藩

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

ここで研究調査の対象とするのは、新潟県十日町市の越後縮問屋の加賀屋蕪木家の文書です。十日町市には江戸時代には六軒の越後縮問屋がありましたが、明治33年の火災でそのいずれもが被災し、加賀屋蕪木家の文書を除いて文書は焼失しました、その後も加賀屋の文書は未公開のままでした。平成16年の新潟中越地震で十日町市も大きな被害を受け、加賀屋文書を保管していた蔵も被害を受けましたので、十日町市ではその寄託を受け、整理保存を図ることになりました。十日町市情報館で整理がなされ、5万点余の文書が確認されました。私はその文書につき研究に利用させていただきたいことを申し出、十日町市より便宜を与えられることになりました。越後縮についての研究はかなりありますが、小千谷が中心となり、加賀屋文書はこれまで見る事ができなかつたので詳細はまだよくわかっていませんでした。私は平成13年ころより加賀屋文書の調査を開始しましたが、平成16年より科学研究費の交付を受けることができ、本格的な調査を開始しました。

2. 研究の目的

新潟県十日町市の加賀屋蕪木家文書は、近世の流通経済史研究の上で多くの知見を提供してくれます。越後縮という江戸で人気の織物を扱う在地問屋は、越後の十日町と小千谷、堀之内の三ヶ所で、それぞれ性格を異にしますが、十日町については核心の史料がなかつたので、詳細には明らかにされてこなかつた。蕪木家は江戸呉服問屋大丸屋の買宿を勤めていたので、大丸屋との関係は密接なものがありました。十日町と小千谷とは江戸問屋との取引形態に異なる点があり、加賀屋文書を通して十日町問屋の性格を明らかにすることができると考えられます。加賀屋は地主経営も行っており、問屋経営と地主経営との結びつきについて明らかにすることができます。

蕪木家文書の中には越後の大名との関係を示す文書が大量にあります。これらは為替関係を示すものになります。加賀屋は江戸の大丸屋に送った越後縮の代金を受け取りますが、それには為替手形を用います。越後の大名は江戸の藩邸に資金を送りますが、陸送だと三国峠を越えて送ることになりますが、為替制度があれば簡略化をはかることができます。このように加賀屋は多くの越後大名の為替を引き受けていくことによって、越後と江戸との為替取引を活発化させ、加賀屋はその金融センターとしての役割を果たした。このような商品取引と為替取引とで加賀屋は越後と江戸を結ぶ重要な役割を果たした。このような点をより具体的に明らかにしていくことを研究目的とします。

3. 研究の方法

研究の方法は、まず関連史料の収集から始めることとなりますが、十日町市情報館に保管されている加賀屋蕪木家文書を、研究代表者と連携研究者とでデジタルカメラに撮影することになります。それに先立ち、十日町市情報館が撮影した蕪木家文書のマイクロフィルムがあり、それを借用することができましたので、業者によってそれをスキャンすることができました。十日町市情報館で作った文書目録がありますので、それを照らし合わせながら、データを揃えることとなります。上記した研究目的を達成するためにデータを読んで必要な数字データを作成していきます。加賀屋文書は五万点もありますので、期間中に蕪木家文書のすべてを撮影することは無理だと思われるが、撮影した史料から数字データを採取していき、数表化していくことによって、加賀屋の経営と地域経済との結びつきを明らかにすることができると考えます。

4. 研究成果

収集した史料があまりにも膨大であったので、その撮影による収集に大量の時間を要し、またそれを読むのに大量の時間を要したために、一部史料の数表化は行いましたが、期間中に論文などの成果をまとめるには至りませんでした。今後、研究代表者と連携研究者とで順次成果を発表していく予定であります。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 0件)

〔学会発表〕(計 0件)

〔図書〕(計 0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年：

国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年：

国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等 なし

6．研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：

ローマ字氏名：

所属研究機関名：

部局名：

職名：

研究者番号（8桁）：

(2)研究協力者

研究協力者氏名： 宇佐美英機

ローマ字氏名： Hideki Usami

研究協力者氏名： 高槻泰郎

ローマ字氏名： Yasuo Takatsuki

研究協力者氏名： 鈴木敦子

ローマ字氏名： Atsuko Suzuki

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。